



# びっきー

第26号

## 【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく  
生きる生徒の育成

### 生徒朝会（給食部による給食感謝集会）

1月27日(水)放送と各学級でのプレゼンテーションによる生徒集会が行われました。今回は江北町の1月25日(月)～29日(金)の全国学校給食週間にあわせ、昔の給食事情など給食部による発表がありました。多くのことを調べ、素晴らしい発表してくれました。私も知らないことが多かったので紹介します。

学校の給食週間は、戦後の1946年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の児童25万人に対し、アメリカ軍等の援助により試験的に実施されたのが始まりで、この感謝の気持ちを忘れないために現在でも1月24日からの1週間を「学校給食週間」とし、各地で様々な行事が行われています。それで、今回はみなさんが毎日当たり前のように食べている給食について発表したいと思います。

では、給食の歴史についてみなさんにお話しします。学校給食が始まったのは、明治22年(1889年)だといわれています。山形県の小学校において、貧困家庭の児童に対し、弁当として支給されたのが始まりで、当初のメニューはおにぎり、塩鮭、菜の漬物でした。今週の月曜日の給食は、この写真のように最初期の給食を再現してありました。



#### 戦後の学校給食

は、写真のようにお湯で溶いたミルクと味噌汁のみで、当時の給食では、ご飯は出されませんでした。このミルクは脱脂粉乳といい、水分や脂肪分を飛ばして粉末状にしたもので、栄養価が高く腹持ちもよいそうです。

昭和22年(1947年)1月からは、全国の都市の児童300万人に対して本格的に実施されました。そして、「パン、おかず、ミルク」が揃った完全給食が実施されるようになったのは昭和25年(1950年)からです。ここから、少し私たちの知っている給食に近づいてきましたね。



これは、当時の子どもたちの給食時の写真です。とてもおいしそうに給食をほおぼっていますね。今の私たちと同じようにこの子どもたちも、給食の時間を心待ちにしていたことでしょう。



昭和40年頃の給食です。当時、ソフト麺は定番の給食でみんなから愛されていました。お盆はアルミのままですが、器はプラスチックに変わり、牛乳はビンに変わっています。(←)



これは昭和50年頃の給食です。この頃になると食パンも給食に出され始めていますね。(←)



これは、昭和60年頃の給食です。この頃から今、私たちが食べている給食に近づいてきましたね。そして、牛乳ビンがパックに変わり、デザートも出始めました。(→)

昭和の給食には、生野菜サラダが多く提供されていました。しかし、平成8年に全国7箇所では腸管出血性大腸菌 O-157 による食中毒が発生したため、学校給食は加熱調理が原則となり、生野菜サラダは提供されなくなりました。今の私たちの給食に生野菜サラダではなく、調理されているものが出るのは、こんなことが起きてからなのです。

では、現代の給食を見てみましょう。始まった頃に比べると、量も多くなり、成長期の私たちにとって、とてもありがたいですよ。そして、食器もプラスチックから陶器に変わりました。



## 2月行事予定

- 2日(火) バースデー給食、SC来校日
- 3日(水) NoTV・NoGame-Day、県内私立後期試験
- 4日(木) 県立特別選抜試験
- 9日(火) SC来校日
- 11日(木) (祝)建国記念の日
- 12日(火) 県立一般選抜願書点検
- 14日(日) テスト前部活動休止
- 15日(月) 面接練習(全体)
- 16日(火) SC来校日
- 17日(水) 学年末テスト①、バイキング給食(3年)
- 18日(木) 学年末テスト②
- 19日(金) 学年末テスト③、学級会、各部会
- 22日(月) 生徒会推進委員会
- 23日(火) (祝)天皇誕生日
- 24日(水) 生徒朝会
- 25日(木) 面接練習(全体)
- 26日(金) 生活アンケート

